

お医者さんに伝えたいこと
メモしておくとい良いでしょう。



- ・いつから ・どんな症状
- ・体温は ・普段と変わったところ
- ・持病 ・病歴 ・飲んでいる薬

救急病院リスト

病院名	電話番号	診療時間

かかりつけ医リスト

病院名	電話番号	診療時間

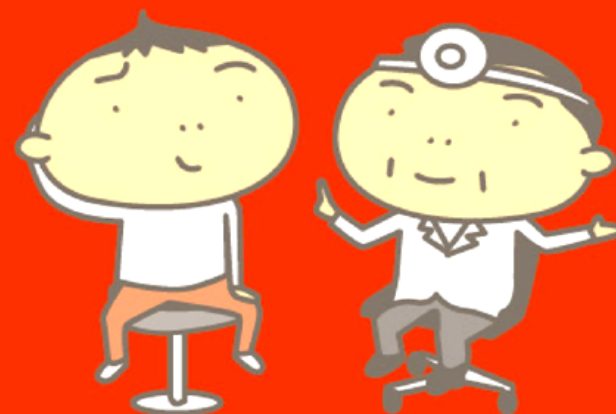
夜間の子どもの急病時、病院へ行ったほうが良いかどうか判断に迷った時は…

徳島子ども救急電話相談 電話番号 **#8000**

※ダイヤル回線の固定電話、IP電話、その他上記の番号をご利用
いただけない場合は、088-621-2365（毎日18時～翌朝8時）

あなたを守る “救急医療”

救急病院や救急車を適正に利用するために
知っておいてほしいことを、9か条にまとめました。



第1条

今一度、病院の 使い方を考えて！

自分のからだをよく知って。
診療時間中なら早めの受診。
突発的で重い症状なら、
いつでもためらわずに病院へ。



日頃から近くの病院の診療時間を
知っておき、体調の変化があれば
早めに受診するようにしましょう。

いつもの体調とは違う突発的で
重い症状があらわれたら、
ためらわずにすぐ病院に行きましょう。

第2条

備えあれば、
憂いなし。



日頃から病気についての知識をつけておけば、体調に変化があったときにも落ち着いて対応でき、安心です。

病気の知識、応急手当、救急箱。



病気やケガの際の応急手当の仕方を
知っていれば、いざというときに対応
できます。救急箱もしっかり常備!

第3条

患者の症状に応じた医療機関があります。

「ちょっとしんどい」は診療所、
「ごっついせこい」は救急病院、
「命があぶない」ときは救急車で
救命救急センターへ。

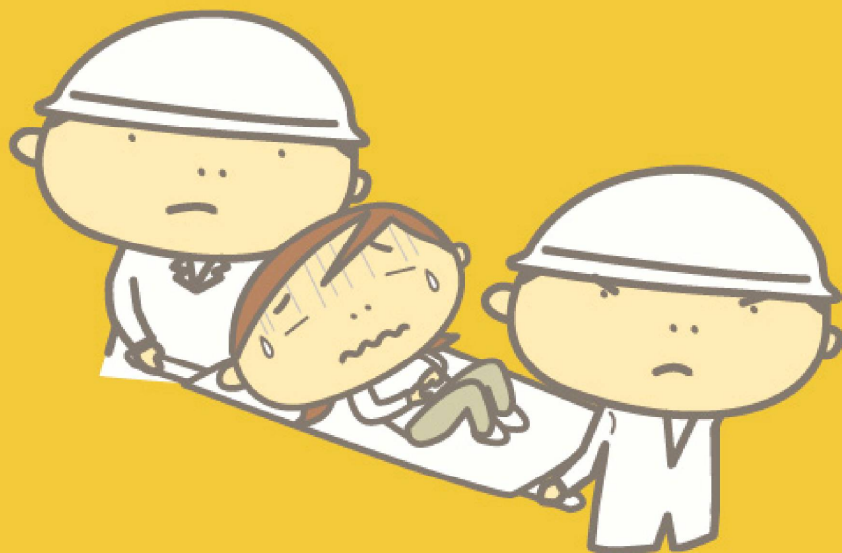


ちょっとしんどいな、と思ったら早めに近くの診療所や病院へ。診療時間外なら、翌日まで待って受診しましょう。救急病院だからといって、専門医が診てくれる訳ではありません。

救急車は 119 番です。
落ち着いて、問われたことに正確に
答えましょう。

第4条

救急は、
突発的な症状に
対する
緊急的な処置!



救急病院は、あくまでも「急な症状に
応じて処置」をるところです。
だから、入院以外は薬も一日分。

入院が必要な患者さん
以外は、薬は一日分しか
出ず、翌日以降に
再受診が必要になる場合が
一般的です。



翌日、念のためにあらためて近くの
病院を受診すると良いでしょう。

第5条

救急診療は、 待つこともある。

救急診療は、
病気・ケガの症状が重い人、
診断・治療を急がなければ
ならない人、の順。



病気やケガの状態が重い人や、急いで
診断したり治療しなければいけない
人を、優先的に診療します。

先に到着していても、状態が軽ければ
待っていただくこともありますので、
ご了承ください。

第6条

「とにかく
大病院へいこう」
はやめましょう。



身近にある病院でまず診てもらいましょう。あなたのことをよく知っているかかりつけ医がいると、より安心です。

専門医への紹介、
検査の必要性は、
病院がきちんと判断。



状態をきちんと診て、場合によっては専門医を紹介したり、大きな病院での検査をすすめたりします。

第7条

忘れずに!
持病情報、
保険証、現金。



自覚症状に加えて、持病、今飲んでいる薬、過去の病歴、今診てもらっている病気があれば、そのこともきちんと伝えましょう。

持病情報などはきちんと伝え、
保険証・現金は必ず持って
行きましょう。



救急でも診療にはお金がかかります。保険証と現金がないと、預かり金を支払い、後日清算が必要になります。その場合は、後日必ず清算しに行かなければなりません。

第8条

もしものとき、 知ってて便利な 『医療とくしま』

一度検索してみてください!

医療とくしま

検索



パソコンから…

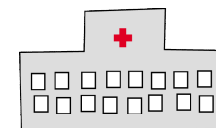
http://med.pref.tokushima.jp/iryuu_kenkou/home/index.html

救急医療に関する役立つ情報が満載!
ぜひ活用してください。



『医療とくしま』は・・・

診療科目、所在地からあなたに合った医療機関を探ることができます。
お住まいの地域の休日夜間救急医療情報もこちらからチェック!



いざという時のために、ふだんから
どんな情報が掲載されているか
見ておきましょう!

第9条

救急病院や、
そこで働く人を
大切に。

自分のことだけではなくて
みんなのこと考えましょうね！



軽症患者に手を取られ、すぐに診療
しないといけない救急患者が来たときに
診療できないことがあると大変です。

救急医療は特例です。
外来、初診は24時間
無休営業ではありません。

患者の都合で受診
いつでも、
手軽に、便利に、
使い放題…



みんなで病院や救急車の
利用の仕方をもう一度考えて、
救急医療を守りましょう。